

TOPPAN HALL

2018/19 SEASON



〈日下紗矢子 ヴァイオリンの地平4〉 近現代

# Sayako Kusaka

VIOLIN 日下紗矢子

ウェーベルン：4つの小品 Op.7 (1910)  
Webern: 4 Stücke für Violine und Klavier Op.7

バルトーク：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ Sz117 (1944)  
Bartók: Sonata für Violine solo Sz117

シュニトケ：ヴァイオリン・ソナタ第2番《ソナタ風》(1968)  
Schnittke: Sonata für Violine und Klavier Nr.2 "Quasi una sonata"

ジョン・アダムズ：ロードムービー (1995)  
John Adams: Road Movies

凜としたまなざしで挑み続けた  
探求の旅、最終章——



# Björn Lehmann

PIANO ビヨルン・レーマン

2019  
2月24日

15:00開演 トップアンホール  
Sunday 24 February 2019, 15:00 TOPPAN HALL

全席指定 5,000円 / 学生2,500円  
発売：10月24日 〓 [ 会員：10月20日 田 ]

ヴァイオリン3公演セット券 限定数販売

トップアンホールクラブゴールド会員 14,060円  
レギュラー会員 / 一般 15,910円



主催：トップアンホール  
特別協賛：株式会社きんでん

〈弦のトッパン〉を牽引する邦人演奏家として、真っ先に名前を挙げられるひとりが日下紗矢子であることに異論を挟む方はいないだろう。2008年、〈ランチタイム コンサート〉初登場、2010年から12年に開催された〈エスポワール シリーズ〉、それに続くこの〈日下紗矢子 ヴァイオリンの地平〉と、10年以上にわたって継続してトッパンホールステージに立ってきた（その間のホール15周年の室内楽フェスティバルでの活躍も抜かずわけにはいかない）。

さらに言うなら、アメリカに留学していた日下が、ライナー・クスマウルに師事したいと願ってアクションを起こした時点からトッパンホール（および私）との深い付き合い、つながりが始まっている。そんな日下紗矢子が、ベルリンという世界の音楽シーンの中心で活躍する中で、自己の立ち位置を見つめ直すためにこの〈ヴァイオリンの地平〉シリーズを活用してくれたのは実に嬉しいし、まさにこちらの真意を汲んでくれたシリーズとなった。日下は本シリーズでは一貫して、独奏楽器としてのヴァイオリンが、イタリアからどのように独壇圏に伝播し発展していったかを身をもってトレースし、検証して見せた。それはおそらく東洋出身の若いヴァイオリニストがベルリンの名門オーケストラを牽引していく上で必要なことだったろう。そして我々は、本シリーズの演奏を通して、彼女の音楽への視座がさらに広がり深まっていくのを、驚きと喜びと共に見守ってきた。

さて。最終回となる第4回—〈近現代〉と題されたコンサートで取り上げられるのは4曲。今回もまたウィーン

（オーストリア）が出発点だ。1910年の作品でありながら、いまだ新しいウェーベルン。精妙さとファンタジーという要素のバランスの妙が聴きどころだ。日下が〈エスポワール〉でも本シリーズでも拘り続けた無伴奏作品は、1944年という時代が生んだ緊張感と民族性というテーマが「いま」に響くバルトークが選ばれた。東欧圏に向けた眼差しの先に見えたシュニトケからは、日下が演奏される機会が少ないことを不思議がっていた“Quasi una sonata”。“多様主義”を確立していくシュニトケ壮年期の充実ぶりをライブで体感させてくれることだろう。シリーズ最後に置かれた曲は、ベルリンでプチブームだという〈ロードムービー〉。言わずと知れたミニマル・ミュージックの大家J.アダムズらしさの漲る作品だ。日本からアメリカ、そしてドイツへと旅を続ける日下には、ある種のシンパシーが感じられる作品なのだろう。

今回も、彼女の要請により共演者を数人提案したところ、偶然にも一押しだったビヨルン・レーマンを選択してくれた。レーマンは、日本ではトッパンの主催公演にも出演している高橋礼恵とのピアノ・デュオとして知られているが、ベルリンでは20世紀以降の音楽の名解釈者として、演奏、指導両面で高い評価を得ているピアニストである。またひとり、新たな優れたピアニストを紹介できるのも本公演の喜びだ。本シリーズはこれにて一旦終了となるが、日下とトッパンホールとの関係はこれからも続いていく…。

プログラミング・ディレクター  
西巻 正史

凛としたまなざしで挑み続けた  
探求の旅、最終章

ヴァイオリン3公演セット券のご案内

通常価格  
18,500円のところ

トッパンホールクラブゴールド会員 14,060円  
レギュラー会員／一般 15,910円

全席指定  
限定数販売  
会員同時入会可

パトリツィア・コパチンスカヤ [ヴァイオリン]  
ポリーナ・レシェンコ [ピアノ]

1/14 2019 15:00 開演 | 8,000円 / 学生 4,000円 [販売中]

◆バルトーク：ヴァイオリン・ソナタ第2番 Sz76 ◆ブーランク：ヴァイオリン・ソナタ  
◆エネスク：ヴァイオリン・ソナタ第3番 イ短調 Op.25 《ルーマニア民俗風》 ◆ラヴェル：ツィガース  
特別協賛：高砂熱学工業株式会社

ヴェロニカ・エーベルレ [ヴァイオリン] — 無伴奏

3/27 2019 19:00 開演 | 5,500円 / 学生 2,500円  
単券発売：11月21日 会員：11月17日

◆イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番 イ短調 Op.27-2 ◆ブーレーズ：アンセム I  
◆J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのバルティータ第2番 二短調 BWV1004 ほか  
特別協賛：鹿島建設株式会社

トッパンホールWEBチケット <http://www.toppanhall.com/>  
トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222  
チケットぴあ 0570-02-9999 / ローソンチケット 0570-000-407

会員優待割引およびセット券は、「トッパンホールWEBチケット」「トッパンホールチケットセンター」でお申し込み頂けます。  
\*学生券(席の限定有)は、トッパンホールチケットセンターで販売いたします。\*未就学児のご入場はお断りいたします。  
\*託児サービス【要予約・有料】：公演日1週間前までにイベント託児・マザーズ 0120-788-222  
【10:00~12:00, 13:00~17:00(土日祝休み)】へお申し込みください。

※やむをえず、曲目・出演者などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。  
※開場は開演の30分前となります。

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分  
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分  
後楽園駅 地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分  
都営バス [上69][飯64][大曲]または「東五軒町」下車徒歩約3分  
※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トッパンホール 〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515  
E-mail:info@toppanhall.com <http://www.toppanhall.com/>

Kinden

チーム、きんでん。

(施工力+技術力+現場力)×情熱

“お客さま満足”という目標に向かって、さまざまなスタッフが力を結集。  
人間力を基盤とした総合エンジニアリング力で、  
あらゆるソリューションにお応えします。



エネルギー + 環境 + 情報

本店 大阪市北区本庄東2丁目3番41号 東京本社 東京都千代田区九段南2丁目1番21号  
TEL.06-6375-6000 TEL.03-5210-7272  
<http://www.kinden.co.jp/>

きんでん